





## 特定外来生物 オオキンケイギク

**原産地** 北アメリカ

**定着経過** 明治時代（1880年代）に観賞用、緑化用として日本に導入された。

- 特徴**
- ・キク科の多年生草本で、高さは30～70cm程度である。
  - ・黄色い花をつけ、花びらの先端が4～5つ歯状の刻みがある。
  - ・生育初期の葉は細長いへら状で、生育が進むにつれ3～5枚の小葉に分裂する。
  - ・主に道ばた、河川敷、線路ぎわなどにみられる。
  - ・5～7月頃に開花し、その後、種子をつける。

**駆除方法** 実をつける前に根ごと抜き取る。

	オオキンケイギク	コスモス
全体		
花		
葉	